



令和2年3月 静岡県水産技術研究所伊豆分場ニュース

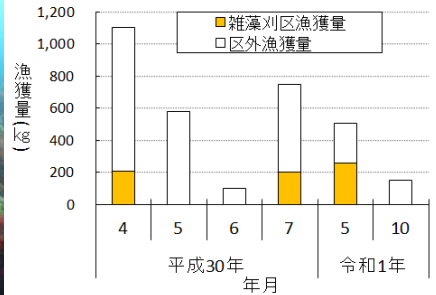
## テングサを増やすにはー雑藻刈のすすめー



雑藻刈前のカジメ、オオバモク群落



雑藻刈後のテングサ群落



下田市白浜地区の月別テングサ漁獲量 (素潜り)

伊豆沿岸は、かつて日本有数のテングサ産地でした。しかし、近年、多くの漁場はテングサ以外の雑藻が繁茂して荒廃しています。当场では、このような漁場を雑藻刈でテングサ漁場に回復させる研究を行ってきました。

白浜地区の素潜り漁業者と協力しながら規模を拡大した実証試験 (面積1,400㎡) の結

果、カジメとオオバモクに覆われていた場所はテングサが優占するまでになりました。操業が行われ、地区の総漁獲量の20%を占めるまでに至り、効果が確認されました。

雑藻刈だけでは、漁場によっては回復速度が遅い傾向があるので、簡便で実施しやすい雑藻刈と母藻投入の組合せを今後普及します。

### 県漁業士会総会の開催

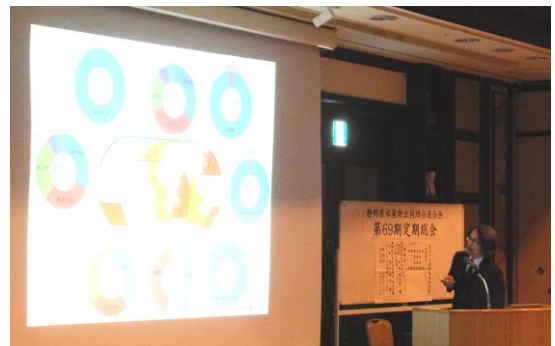
第26回県漁業士会通常総会が2月7日に伊豆の国市長岡で開催されました。総会では、高田充朗氏 (いとう漁協) が新会長として選出されました。また、東部地区から新たに5名の指導漁業士が紹介されたほか、昨年定年となったの浜野正章氏 (いとう漁協) の長年の活動と貢献に対して名誉漁業士の称号が授与されました。県漁業士会は、ひきつづき県外漁業士との交流や、各地区での水産教室等の活動を行っていくこととなりました。



高田指導漁業士 (いとう漁協) が新会長に選出されました。

### キンメダイ資源について講演

2月14日に沼津市で県水産物出荷組合連合会の定期総会が開催され、当场より「キンメダイ資源について」の講演を行いました。キンメダイは世界各地で漁獲されていることや、成長や移動などの生態、近隣県と連携した資源管理などについて紹介しました。これまでは漁業者以外への情報発信は多くありませんでしたが、伊豆の水産資源への理解を深めるため広く情報発信をしていきたいと思ひます。



解説：県水産物出荷組合連合会：静岡県内の産地市場の出荷業者 (仲買業者) で構成される組合の連合会

**3月の予定** ●天草作柄を予測するため、潜水調査を行います。 ●5日に静岡市で静岡県キンメダイ資源管理型漁業実践推進漁業者協議会が開催されます。 ●伊東地区でキンメダイの標識放流を予定しています。

連絡先：静岡県水産技術研究所伊豆分場 〒415-0012 下田市白浜251-1 電話：0558-22-0835

アドレス：suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp ホームページ：https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu

会場には、自由に見学できる展示施設があります。皆様のお越しをお待ちしています。